

平成 29 年 鳥羽市教育委員会会議録

第 7 回 定例会

場 所 鳥羽市教育委員会事務局 教育長室
期 日 平成 29 年 7 月 26 日 (水)
開 会 午後 1 時 30 分
閉 会 午後 3 時 00 分

出席委員	委 員 山 下 隆 広 委 員 亀 川 聖 子 委 員 江 崎 ユ ミ 委 員 岡 村 忠 夫 教 育 長 小 竹 篤
------	---

出席職員 (説明員及び書記)	総 務 課 長 世 古 雅 人 学 校 教 育 課 長 岩 本 和 也 生 涯 学 習 課 長 榎 高 広 (書 記) 総 務 課 長 補 佐 寺 本 晃 洋 総 務 課 係 員 北 橋 亜 由 那
----------------	--

件名	日程第1 会議録（平成29年第6回定例会）の承認について
意見及び指摘事項 及び 事務局説明	【意見・指摘】 なし
議事結果	承認

件名	日程第2 諸報告について
報告事項	<p>【報告】 (教育長)</p> <p>就任して初めての教育委員会です。 教育委員の皆さんには、この場で議論をいただき、決定したことをしっかりと教育行政に活かしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>教育行政が市民から信頼されるような仕事をし、職員には誇りを持って仕事をしてもらいたいと思っています。</p> <p>新教育長として、鳥羽市の教育の目指すところを、次のように考えております。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>22世紀の鳥羽を見据えた豊かな教育を目指し、 「美しいものを美しいと感じ、 正しいことを正しいと解り、 進むべき道をしっかりと歩む。」</p> </div> <p>感性は大人が子どもに伝えていくものだと思っています。</p> <p>このような感性が育まれる様な教育活動により、噂に惑わされたりすることなく、自分の感性で判断することが出来、自信に満ちて、自分のすべきことを貫けるように育てて欲しいという思いでいます。</p> <p>○これからの鳥羽市について</p> <p>鳥羽市にとって人口減少、少子高齢化への対応は大きな課題です。</p> <p>国際観光都市・国際海洋都市にふさわしい資質の醸成、鳥羽の子どもたちにとって必要な学力、資質を見極めながら、学校教育を行っていく必要があります。</p> <p>私は鳥羽市の持続性という意味で、郷土愛を大事にしたいと考えています。コミュニケーション力(協働)、向上心を育めるような環境を整えていき</p>

報 告 事 項

たいと思っています。

また、老若男女を問わず、笑顔と挨拶があふれるまちを目指したいと思いをします。

子どもだけではなく、大人も一緒に挨拶を交わすことができるまちづくりを市内の地域や市行政と協力しながら行っていきたいと考えています。

また、健康で文化的な暮らしも大切です。

これまでも様々な生涯学習事業を展開しておりますが、今後も、市民のニーズに応じ、事業内容の充実を図って生涯学習活動を進めていきたいと思いをします。

文化講座のほか、体を動かすような内容の事業も検討したいと考えております。

○課題解決に向けて

・海の博物館

本年 10 月からの市立博物館としての開館に向け、8 月 2 日に市議会を開催していただき、設置条例や関連予算の議案について審議していただく予定です。

・鳥羽市民体育館

2021 年(H33 年)に三重県で、第 76 回国民体育大会が開催されます。鳥羽市では、フェンシング競技が開催される予定で、市民体育館が会場となります。市民体育館は、前回の三重国体(S50)開催前の昭和 48 年に建設してから、これまで大規模な改修が行われてこなかった建物です。国体会場となることをきっかけに、今後も長期的に施設が利用できるように必要な改修について、費用面も含めて検討していきます。

・旧鳥羽小学校校舎の保存活用

平成 28 年度に保存活用に向けた実施設計を行いました。本年度から建設補強、外壁工事を進めていく予定ですが、保存活用計画の実施にあたっては、関係者や地域とも話し合いをしながら進めていかなければならないと考えています。

・鳥羽市小中学校統合計画

鳥羽市教育委員会は、平成 27 年 11 月に統合計画を策定しています。

この計画では、教育環境の充実に向けた適正規模、適正配置を進め、子どもたちにとって望ましい教育環境を整えるため、統合の判断基準を示させていただきます。

しかしながら、学校統合は子どもたちや地域の方々にとって非常に重要

なことで、地元の意見を聞きながら、子どもの未来と地域の活性化を見据えて、教育委員会でも一緒に議論していきたいと考えています。

・鳥羽高校の存続について

本年3月に県教委が策定した県立高等学校活性化計画で、南勢志摩地域の小規模高校の存続に向けた方針が示されています。

計画では、平成29年度から3年間に大幅な欠員が生じた場合、総廃合や設置形態の変更など再編に向けた動きを示唆しています。

1学年に2クラス以内の小規模高校については、地元の支えや協力が得られない場合は、存続することが難しいということになります。

教育委員会としても、地元の重要な県立高校ですので、存続に向けて学校の取組みや市事業との連携など、様々な形で関わっていききたいと思っています。

・教職員の過重労働解消への取組みについて

8月3日にある校長会でも過重労働解消に向けた働き方の見直しについて指示する予定です。

土曜授業の振替については、同一週に振替えるように指導しているところですが、現場からは、対応が難しいと言われています。

土曜授業の在り方については、志摩市と連携調整しながら、引き続き検討を進めていきます。

・基礎学力定着へ向けて

基礎学力の定着に向けて学校全体で取り組みを進め、基礎学力が定着しない児童・生徒への対応を行っています。

9月からは、健康福祉課の委託事業で、小学校4年から中学3年までの子どもたちを対象に、学力向上と居場所づくりを目的とした学習支援事業が始まります。生活困窮などの理由により、学習機会を得にくい子どもたちに、学習支援ボランティアが寄り添い、学習サポートを行うものです。委託先は市社会福祉協議会です。

教育委員会としても積極的に協力していきたいと思っています。

・学校給食と中央調理場の在り方について

現状の給食費では、必要な献立を維持していくことが難しくなっています。

本来は牛肉を使いたい献立でも、鶏肉や豚肉に換えて対応している状況です。

このことから、給食費の値上げについて検討を進めていきたいと考えて

います。

そのため、保護者に学校給食の現状をお伝えし、給食費に関する考えやご意見をいただく内容のアンケート調査を行いたいと考えています。

アンケートの結果を踏まえて、教育委員会でも協議していきたいと考えています。

また、中央調理場については、施設面において改修も必要な時期となっているほか、退職年齢が近づいた正規職員の補充対応など、学校給食の現状を踏まえつつ、今後、中央調理場の業務について、市直営の継続か、民間委託を進めるのか、検討する時期にきています。

1. 諸活動

7月1日(土) 着任 社会を明るくする運動 表彰式

7月2日(日) 清港会

7月3日(月) 初登庁

給食協会総会

7月5日(水) 第1回離島留学準備委員会(答志コミュニティアリーナ)

7月6日(木) 海の博物館訪問

7月7日(金) 県教委表敬訪問 県教育長会議 情報交換会参加

7月8日(土) スポーツ少年団講演会 櫻井先生(スポーツ栄養士)

7月10日(月) 学校長期首面談

7月11日(火) 学校長期首面談

菅島の未来を考える会(市長来訪)

海の博物館についての懇談(石原館長市長室訪問)

7月12日(水) 教育委員会の課題について市長懇談

加茂小学校訪問

7月13日(木) 開発公社評議員会 評議員任命書受領

公民館主事会議 教科書採択会議(道徳)

7月14日(金) 相差くじら祭り参加 いじめ問題対策協議会

7月15日(土) 第2回地球塾

7月18日(火) 安楽島町内会来訪 定期監査

7月19日(水) 鳥羽高校活性化協議会

7月20日(木) 終業式 議会全員協議会 青少年育成会街頭啓発

7月21日(金) 教頭会

7月24日(月) 三重大学教育学部副部長市長室来訪 定例記者会見

7月25日(火) 保護司会街頭啓発 放課後子供総合プラン運営委員会

2. 児童生徒の活動

(教育長)

- (1)中体連の結果
- (2)サンタバーバラ市中学生派遣・招致事業
- (3)鳥羽高校「とぼっこクラブ」「観光甲子園」全国大会出場
- (4)鳥羽第1 スポーツ少年団 東海四県学童軟式野球大会出場
- (5)鳥羽フェンシングクラブ全国中学生選手権大会（フェンシング個人）で優勝
- (6)全国少年少女レスリング選手権大会小学6年生準優勝

スポーツでは、中体連やスポ少などの大会結果を踏まえると、全体的によく頑張っている様子です。

サンタバーバラ市中学生派遣・招致事業について、7月26日に中学生男子2名、女子2名の計4名が出発しました。

帰国後、8月8日には、サンタバーバラ市の子どもたちと一緒に市長訪問される予定です。

鳥羽高校の地域研究サークル「とぼっこクラブ」が全国高校観光選手権〈本選大会〉、通称「観光甲子園」に出場することが決まりました。

予選では、42校から84プランの応募があり、鳥羽高校は上位8校のうち、7位で本選通過しました。本選大会は8月24日に神戸市で開催されます。

そのほか、小学6年生の児童が福岡県北九州市で開催された全国少年少女レスリング選手権大会に出場し、準優勝しました。

3. 教職員について

(教育長)

時間外勤務の時間数が多い教職員が増えています。クラブ活動や業務の集中など、要因は様々です。

長時間勤務が原因とはいえ切れませんが、時間外勤務の多い職員で、体調に影響が出ているような職員もいます。このことについては、校長会で報告し、総勤務時間の縮減に向けた業務の改善や職員の健康管理への配慮について、指示していきます。

4. 市議会について

(教育長)

8月2日の市議会に鳥羽市立海の博物館の設置及び管理に関する条例や海の博物館関連予算を上程するため、説明資料等の準備を進めています。

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>【質疑・応答】</p> <p>1. 諸活動</p> <p>○学校給食と中央調理場の在り方について (委員C)</p> <p>中央調理場の民間委託についても検討すると話されていましたが、具体的に説明をお願いします。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>現状を説明すると、神島小中学校と菅島小学校については地元宿泊施設に委託し、答志小中学校については、地元旅館組合へ委託しています。</p> <p>市が直営で調理業務を行っているのは、中央調理場のみです。</p> <p>近隣の市町をみても、市が直営で行っているところもありますが、民間委託で行っているところもあります。</p> <p>専門に調理を行う業者が数社ありますので、選択肢の一つとして民間委託も考えています。ただし、献立については、担当の栄養教諭が作成することから、民間委託をしたからといって、献立内容が大きく変わることはないと考えています。</p> <p>(総務課長)</p> <p>中央調理場の正規職員は、定年退職により3年後に0名となります。新規採用をしなければ、嘱託職員と臨時職員のみで運営することになります。</p> <p>(委員D)</p> <p>仮に学校給食が民間委託となったとして、業務の所管はこれまで通り学校教育になるのですか。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>学校給食の管轄はこれまで通り学校教育課となります。</p> <p>○鳥羽高校の存続について (委員B)</p> <p>鳥羽高校の存続について、地元と協力しないと存続は厳しいとのことですが、存続の方向性はいつごろ出されるのでしょうか。</p> <p>(教育長)</p> <p>3年後に方向性を出すと聞いています。</p> <p>鳥羽高校の活性化協議会には、自治会長、企画財政課長、私、県教育委員会3名が参加しています。</p>
----------------------------------	--

	<p>地元の協力が得られていると判断されれば、存続の可能性も高くなると思われませんが、今年 80 人の定員で 77 人の応募となっていることも問題です。</p> <p>(委員 D)</p> <p>鳥羽高校へ学校訪問したときに、校舎もとてもきれいで、明るいイメージを持ちました。</p> <p>地元の生徒は全体の 20 数パーセントと聞いています。遠方から通う生徒はかなり遠いところからも来ていて、学校の選択肢の中から、生徒の受け皿になっていると感じました。</p> <p>先生方も、学力向上に取り組んでいますので、期待できると感じています。</p> <p>(教育長)</p> <p>広報とばでも 9 月 1 日から 3 ヶ月に 1 回、鳥羽高校の活動について紹介する記事を掲載することになっています。</p> <p>○離島留学について</p> <p>(委員 A)</p> <p>答志地区で開催された離島留学準備委員会について説明をお願いします。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>7 月 5 日に答志コミュニティーセンターで開催しました。</p> <p>教育委員会からは教育長、総務課長、学校教育課長、吉川課長補佐、小林指導主事が参加しました。</p> <p>企画財政課からは、離島振興、移住定住の担当者 2 名が参加しました。答志コミュニティースクール実行委員会の濱口会長を含め 10 数名のかたに参加いただき、第 6 回定例教育委員会で提案した実施要項の概要を説明し、皆さんで検討いただきました。</p> <p>おおむね概要についてはご了解いただいたと思っています。</p> <p>一番話題に上がったのは市からの補助金についてでした。</p> <p>地元からは、早急に補助金額について決めてほしいとのご意見をいただきましたので、教育委員会としても早急に対応したいと回答しました。</p> <p>また、19～21 日には、答志地区の代表の 3 名と、学校教育課の吉川課長補佐、小林指導主事の計 5 名が鹿児島県下甕島へ先進地視察へ行ってきたところですので、現地視察の報告を踏まえて、全体的な整備を進めていきたいと考えています。</p>
委員意見要旨	特になし

件 名	日程第3 議案第48号 平成30年度使用小学校用「特別の教科道徳」教科用図書の採択について
担当課説明等	<p>非公開</p> <p><非公開の理由></p> <p>文部科学省平成29年3月29日付「教科書採択における公正確保の徹底等について（通知）」により、『教科書採択については、教科書発行者に限らず、外部からのあらゆる働きかけに左右されることなく、静ひつな環境を確保し、採択権者の判断と責任において公正かつ適正に行われるよう努めること』とされています。</p> <p>このことから、第1回鳥羽志摩地区教科用図書採択協議会において、各教育委員会での採択に関わる審議、承認までの過程については非公開とすることとしています。</p>
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答】
議 事 結 果	承認

件 名	日程第4 その他 1. 後援依頼【事後承認】について
担当課説明等	<p>(総務課長) 後援依頼各申請（写し）に基づき説明</p> <p>(1) 「海女」をテーマとした体験学習事業 【新規】</p> <p>(2) 第12回伊勢市長杯学童軟式野球大会 【新規】</p> <p>(3) 2017 平和を考える集い 8.26 ピースイン志摩 【新規】</p>
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答】 なし
委員意見要旨	<p>(委員D)</p> <p>「海女」をテーマとした体験学習事業について、海の博物館が実施主体となっていますが、10月からは市立化後は、どのように事業を実施するのでしょうか。</p>

	<p>(生涯学習課長)</p> <p>8月2日の市議会に「鳥羽市立海の博物館の設置及び管理に関する条例」を上程し、承認されれば、市立博物館として位置付けられます。</p> <p>博物館の運営は指定管理者制度による委託を行う予定で、9月議会には、指定管理者選定についての議案を上程する予定です。当面の間、これまで海の博物館を運営してきた公益財団法人東海水産科学協会を指定管理先としていきたいと考えています。</p> <p>現在、海の博物館の土地、建物は市の財産になりましたが、年間3万人以上の入館者がある鳥羽市にとって重要な文化交流施設ですので、市の準備が整うまで、休館せずに開館業務を東海水産科学協会の自主運営で行っています。</p> <p>海の博物館では既に50件以上の修学旅行や体験学習事業を提供しています。指定管理者による運営となっても、体験学習事業については、特に力を注いでいきたいところですので、切れ目のない受け入れをしていきたいと考えています。</p> <p>また、小中学生を対象にこれだけの事業を展開しているところは、施設の強みですので、今後さらにアピールしていきたいと考えています。</p>
議 事 結 果	了 承

件 名	日程第4 その他 2. 後援依頼について
担 当 課 説 明 等	<p>(総務課長) 後援依頼各申請(写し)に基づき説明</p> <p>(1) いせ第九コンサート 【前回：平成28年第7回】</p> <p>(2) みえレインボーフェスタ2017 【前回：平成28年第8回】</p> <p>(3) 第37回鳥羽ライオンズクラブ旗争奪少年少女球技大会 【前回：平成28年第7回】</p>
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答】 なし
委員意見要旨	特になし
議 事 結 果	了 承

午後3時00分 閉 会